

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第703号

[Website] <http://www.print.or.jp>

[E-mail] info@print.or.jp

12

2014

平成26年
12月10日発行

INDEX

印刷燦燦	3
第5回理事会	4・5
2014全日本印刷文化典京都大会	6~8
全印工連表彰受賞者	9
『印刷道』実践セミナー案内	10
平成27年新春経営者研修会案内	10
平成25年北海道工業統計速報	11
2015北海道情報・印刷産業展 開催日のお知らせ	11
PODメーカー4社見学会&プレゼンテーションバスツアー	12・13
印刷技能士合格者	14
平成27年新年交礼会案内	14
業界のうごき	14
お悔やみ	14

[表紙] 函館山からの夜景 (函館市)

北海道印刷工業組合

〒064-0808 札幌市中央区南8条西6丁目 TEL.011-562-6070/FAX.011-562-6072

印刷 燦 燦

先義後利

百貨店の大丸グループ共通の精神、営業方針の根本でもあり、先日行われた2014全日本印刷文化典京都大会の記念講演のテーマで、株式会社 半兵衛麩（はんべえふ）の家訓にもなっている言葉。

～義を先にして利を後とする者は栄える～

半兵衛麩の基本姿勢として、「義」とは、正しい人の道のこと、「利」とは人の強欲のことを指し、金銭欲や出世欲によって商いをする、「人をだましてまで儲けよう」という間違っただ道に進み、破滅してしまう。そうではなく人様のお役に立つ商売をし、それによって得た利益を世の中の為にする。それが正しい商いの道としている。

人様のお役に立つというのは、単にお客様だけではなく、お客様のお客様、パートナーや業者さん、上司、同僚などステークホルダーの立場に立ち考え、WIN-WINの関係が出来上がるのが理想だろう。

そして、そこから更なる信頼を得ることができ、長期的な関係を築いていくことが大事だと思う。

不況期こそ「先義後利」を胸に刻め!と聞いたことがあるが、景気に関係なく、常日頃からこのことを考え、「ヒト」と「ヒト」との繋がりを大事にして行動していきたいと思う。

北海道印刷工業組合 理事・青年部事業委員長 **岡部信吾**

北陽ビジネスフォーム株式会社 取締役

下期事業スケジュールを決定

平成26年度第5回理事会開催

平成26年度第5回理事会が、11月14日午後1時30分から札幌市中央区のエイト会館で全道から理事12人と監事2人が出席して開催され、印刷道実践セミナーをはじめとする下期の事業スケジュール等を決定した。

理事会は、冒頭、板倉理事長が「5月に岡部理事長からバトンタッチをしてからまだ地方支部の方々のところ全部に、ご挨拶をさせていただいていない状況にある。函館、旭川に伺い、小樽は夏に会合があり出席させていただいた。それ以外のところは日程がなかなか取れなく失礼している。1月の新年会に何とか時間を作ってと考えているので、地元に戻られたらよろしくお伝えいただきたい」とあいさつを述べた。

つづいて、定数報告が行われ、理事長を議長に議事に入った。

最初に、報告事項として

- (1)事業実施状況について、北印工組の事業、全印工連の事業、関係団体の事業に大別して、第4回理事会以降の活動状況が報告された。
- (2)財政状況について、9月末の中間決算の状況が説明され、植平監事・島津監事による中間監査が行われ、適正に行われている旨の監査結果の報告が行われた。
- (3)第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会の開催結果について、9月5日に記念式典・記念講演・北海道情報・印刷産業展見学・記念パーティが開催され、全行事ともに約180人が参加したことが報告さ

れた。

- (4)北海道印刷関連業協議会平成27年新年交礼会について、1月9日午後5時から札幌グランドホテルで開催されることが説明され、多数の組合員の参加要請が行われた。
- (5)電気料金再値上げに関する要望について、北海道電力の電気料金再値上げに対し、北海道印刷関連業協議会として、経済産業省・同北海道経済産業局・北海道・北海道電力に対し、①電気料金の再値上げの回避もしくは抑制、②電力の安定供給の要望を行ったことが説明され、北海道印刷関連業協議会の構成員として当組合も追認した。
- (6)平成26年度被表彰者について、北海道から全印工連印刷産業発達功労者顕彰1名、同組合功労者顕彰2名、同優良従業員表彰1名、第30回北海道情報・印刷文化典札幌大会永年勤続優良従業員表彰16名が受賞されたことが報告された。
- (7)2015北海道情報・印刷産業展について、北海道情報・印刷産業展実行委員会は、例年9月初旬に開催している北海道情報・印刷産業展を、来年は9月にIGAS2015が開催されるため、出展者の対応が難しいことから、来年に限り、会期を6月11日(休)～13日(土)に変更して開催することが説明された。

次に議事に移り、

(1)平成25年度下期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、明日に向かって「魅力ある業界づくり運動」の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、財政状況の検討の各事業の実施スケジュールが説明され、決定した。

(2)印刷道実践セミナーについて、昨年発表された「印刷道～ソリューション・プロバイダーへの深化」の理解を深め、各社に適合する戦略を選択して実践に繋げる計画書を作成するための「印刷道実践セミナー」を1月31日（土）に午後1時30分から講義・ワークショップを3時間かけて行うこととした。

会場は、札幌市中央区のガーデンシティ札幌駅前、(株)ビジネスコミュニケーション研究所代表取締役の田中信一氏が講師を担当する、

(3)日本印刷個人情報保護体制認定制度（JPPS）について、個人情報保護が求められているが、Pマーク、ISMSはハードルが高いため、東京都印刷工業組合が業界内の認定として、日本印刷個人情報保護体制認定制度（JPPS）を策定し実施して、現在125社が認定されている。これを全国に提供することになったため、来年度以降、北海道で取り組むかどうかを各支部において意向を確認することとした。

(4)平成25年度第6回理事会、下期北海道地区印刷協議会、新春経営者研修会について、北海道印刷関連業協議会平成27年新年交礼会に合わせ、1月9日午後1時から第6回理事会、午後1時45分から下期北海道地区印刷協議会、午後2時45分から新春経営者研修会を開催することとした。

新春経営者研修会は、中小企業診断士の千葉俊幸氏を講師に、「実例から学ぶ経営強化のポイント～診断結果から見た企業の現状」をテーマに開



催する。

(5)その他として、板倉理事長から、①Adobeライセンスプログラムの適正利用、②全青協発刊「もう一つの選択軸創造をめざして」の活用、③AEDマットの販売、④中小企業庁のサイト「ミラサポ」の活用、⑤2016全日本印刷文化典の福島県開催決定について説明が行われた。

このあと、各支部の活動状況が報告され、理事会を終了した。

2014全日本印刷文化典京都大会 盛大に開催

印刷業の新たな未来へ

2014全日本印刷文化典京都大会が、10月24日、ウェスティン都ホテル京都で、「京から始まる印刷業界の新たなストーリー」をテーマに、来賓、全国の組合員、関連業者950余人が出席して開催された。

〔記念式典〕

記 念式典が、午後1時30分から行われた。水落充近畿地区印刷協議会会長が開会宣言を行い、国歌斉唱の後、開催工組を代表して京都府印刷工業組合の瀧本正明理事長が、「昭和49年以来、40年ぶりに京都の地で皆さんを迎えることができたことに先ず感謝をしたい。今大会では、全国の印刷産業人が直面する課題を真摯に受け止め議論することで、情報産業の中核を担う印刷人として、情報コミュニケーションに関わるあらゆるニーズに応えるソリューション・プロバイダーの一員として、印刷産業の未来に向けた新しい展望を示すことができると確信している。これからの印刷会社は、自分達で仕事を創る『コトづくり』をしなければ勝ち残る企業になれない。参加者の皆様が顧客の要望に幅広く応えるためのビジネスヒントを掴み、夢と希望の持てる業界づくりを目指していく場となることを期待している。秋の京都を十二分に堪能し、明日への飛躍の糧にてもらいたい」とあいさつを述べた。

つづいて、島村博之全日本印刷工業組合連合会会長が、「組合員数は毎年減り続け、賦課金収入もこの



2年間で2,000万円近く減ってしまったが、事業支出は増やし続けている。賦課金収入が減っていく状況で事業に掛けるお金を増やすことが可能になっている理由は2つある。1つはそれぞれの委員会がしっかりとした予算管理のもと収益事業と経費削減を着実にやってきたこと。2つ目はどの事業に対しても多くの組合員が賛同し参加したことで、これこそ組合のあるべき姿と考えている。また全印工連の平均従業員数は21人で、この規模の会社の経営にとって組合から得られるメリットは計り知れなく大きい。今残ってい

る組合員はそれを理解しているからこそ組合に所属しており、やる気がある。組合を必要としている組合員の期待に応えることこそが執行部の任務だと考える。組合員がどうしても今以上に組合に魅力を感じられるようになるか、新しい印刷産業のなかで勝ち抜いていけるのか、さらにその姿に共感して、さまざまな業界の企業から我々の仲間に入りたいと言ってもらえるようになるか、その探求をつづけることが47都道府県工組、連合会の使命だと考えている。後1年半、執行部全員がこのミッションをしっかりと念頭に置き、担当事業を遂行していく」と式辞を述べた。

つづいて、来賓紹介が行われ、宮澤洋一経済産業大臣（関総一郎近畿経済産業局長代読）、塚本稔京都市副市長からそれぞれ祝辞が述べられた。

つづいて、表彰が行われ、印刷産業発達功労者顕彰を岡部康彦氏（北陽ビジネスフォーム株式会社代表取締役会長・北海道印刷工業組合顧問）と森永伸博氏（株式会社伸正社代表取締役社長・東京都印刷工業組合参与理事）の2人、印刷関連産業功労者顕彰をアドビシステムズ株式会社、組合功労者顕彰を77人（北海道からは板倉清理事長と米澤正喜小樽支部長



印刷産業発達功労者顕彰を受けた岡部康彦氏（左）と森永伸博氏（右）

の2人）、優良従業員表彰を98人（北海道からは1人）が受賞した。

受賞者を代表して、岡部康彦氏から「本日、このような盛大な記念式典において、全日本印刷工業組合連合会の表彰の栄誉に浴するという事は、私たち一同、身に余る光栄である。本日このような素晴らしい賞を受けることができたが、これは決して私たちだけ

印刷文化典宣言

社会環境・経済環境・情報環境が大きく変化する中で、時代は今、大きな転換期を迎え、我々印刷産業もまたその渦中にある。

急進するIT、メディア媒体の多様化、企業間競争の激化など、かつてない厳しい経営環境下にあり、我々に求められる役割も様変わりしてきている。

今こそ我々は、先達者の努力で築き上げ受け継がれてきた、時代を彩る印刷文化を、次代に継承発展させるべく、機動性・柔軟性、そして創造性を発揮して、変化から変革へと自らの歩みを進めていかなければならない。

我々印刷産業人は、1,200年を超える歴史の遺産を守り続ける京都において、「京から始まる印刷業界の新たなストーリー」のテーマのもと、全日本印刷工業組合連合会が提唱している「印刷道～ソリューション・プロバイダーへの深化」の具現化に向けて印刷産業が持つ自らのアイデンティティを再定義し、研鑽を重ねて未来へ向かって前進することを誓う。

企業の社会的責任を全うし、有益な印刷製品・サービスを供給し、国民生活および文化を支える産業として、社会に貢献することをここに宣言する。

平成26年10月24日

2014全日本印刷文化典京都大会

の力ではない。皆様の力添えがあってこそその受賞と
思っている。私は、全印工連では常務理事の職責を
10年間、担わせていただいた。この間、皆様からのご
指導ご鞭撻をいただき、勉強させていただくことがで
きた。これも偏に、皆様のご厚情の賜と感謝申し上げ
る。私は、業界のさまざまな活動を通して、全国の多
くの同業の皆様と知り合い、情報を交換し、親交を深
めることができた。これは私にとって大きな財産であ
る。今、改めて業界活動の素晴らしさと大切さを実感
している。本日、受賞した皆様は、既に印刷の各分野
で、それぞれの役割を担ってきたが、これからも、本
日の受賞を糧として、国民生活と文化を支える産業の一
翼を担う印刷産業に携わることを誇りとし、印刷業界
がさらなる発展を遂げるよう研鑽し、微力ながらも
お手伝いできればと思っている」と謝辞が述べられた。

つづいて、福野慎吾京都青年印刷人月曜会会長から「印刷文化典宣言」が提案され、満場の賛成を持って採択され、中村安博京都府印刷工業組合副理事長の閉会の辞で記念式典を終了した。

〔全印工連メッセージ〕

全印工連メッセージが、午後2時45分から行われた。

全印工連メッセージは、島村博之全印工連会長が、平成25年度印刷業経営動向実態調査結果報告について説明した。

同実態調査は、今回から調査手法、調査対象、項目を大幅に変更し、WEB調査により全組合員を対象に項目を簡素化して調査した。その結果、回答社数が前年の393社から558社に大幅に増加した。

今回の調査を通し、回答企業はすべて積極的に業態変革に取り組んでいると感じた。既に自社にあったビジネスモデルを見つけている会社、トライ&エラーを繰り返している会社など、利益という形では現時点では違いが出てきているが、その地位はいずれ入れ替わるかもしれない。今後もこのような調査に全組合員が参画し、素晴らしい組合活動に繋がっていくことを期待している。

次に、今年度、新たに設置した女性活躍推進のメンバーを紹介した。

同推進室の吉澤和江委員長が「女性が活躍できる産業でない」と未来はないと思い設立した。女性が活躍できる社会、女性が活発に活動できる会社は、男性も活発な活動ができる会社だと思う。個々の個性を

尊重して、女性がたくさん働ける印刷産業を創っていききたい」とあいさつした。

〔記念講演〕

記念講演が、午後3時45分から行われた。

記念講演は、半兵衛麩会長・11代当主 玉置半兵衛氏を講師に迎え、『先義後利』梅岩に学ぶ「京都商道」をテーマに開催され、3代目が江戸時代の思想家、石田梅岩の商道徳にほれこみ、「先義後利」を家訓とし、損得の「利」ではなく、善悪の「義」を旨とした商道徳を貫いている。子どものころ先代から信じる顧客や従業員がいるから「儲かる」と漢字の意味を教わったと説明し、「老舗」は「止舗」「死舗」「私舗」ではなく、「新舗」新しい発想、「信舗」信用、「清舗」法律を守る、清らかである、「心舗」思いやりの心、「真舗」正直である、「親舗」親しみを感じる、「進舗」プラス志向、「辛舗」しんぼう、「慎舗」ひかえめ、「紳舗」紳士を目指すべきと説いた。

〔記念パーティ〕

記念パーティが、午後7時から行われた。

記念パーティは、祝舞につづき、瀧本正明実行委員長の歓迎の言葉、山下晃正京都府副知事、西田昌司参議院議員、前原誠司衆議院議員の3人の祝辞のあと、鏡開きが行われ、石田明(株)SCREENホールディングス代表取締役会長の乾杯で開宴した。

アトラクション、販促アイデアアグラプリ表彰式、大抽選会が行われ、次期開催地の福島県印刷工業組合の皆さんが登壇し、佐久間信幸同理事長が2016福島大会のアピール行い、多数の参加と2年後の再会を呼び掛け、高橋東作京都府印刷工業組合副理事長の閉会の言葉で記念パーティを終了した。



次回開催地 福島県工組によるPR

全印工連表彰おめでとうございます

2014全日本印刷文化典京都大会記念式典が、10月24日にウェスティン都ホテル京都で開催され、長年にわたり業界の指導・育成に尽力し、振興発展に大きく貢献した方々の表彰が行われました。

北海道から、印刷産業発達功労者顕彰を岡部康彦氏、組合功労者顕彰を板倉清氏、米澤正喜氏が受賞されました。

また、優良従業員表彰を1名の方が受けられました。

〔印刷産業発達功労者顕彰〕

岡部 康彦 氏

北陽ビジネスフォーム株式会社代表取締役会長
全日本印刷工業組合連合会参与
北海道印刷工業組合顧問



〔略歴〕

平成16年に北海道印刷工業組合理事長に就任。その後、10年間にわたって北海道中小印刷業界の振興発展に尽力した。また、(一社)日本印刷産業連合会においては、平成18年から26年まで、監事、理事、常任理事を歴任し、中小印刷業界の枠を超えた幅広い業界活動を担い、平成21年には日印産連印刷功労賞を受賞した。全日本印刷工業組合連合会にあっては、平成16年から常務理事、北海道地区印刷協議会会長を務め、この間、組織・財政問題検討特別委員会委員、組織・財政改革特別委員会委員として、全印工連の機構改革ならびに財政基盤の強化に努め、さらには、平成24年に開催した「2012全日本印刷文化典北海道大会」を成功に導き、全国と地場の双方に大きな成果を残すなど、業界の振興発展に尽くした功績は多大である。

〔組合功労者顕彰〕

板倉 清 氏

北海道印刷工業組合理事長

株式会社アイテックサプライ
代表取締役



〔組合功労者顕彰〕

米澤 正喜 氏

北海道印刷工業組合理事・小樽支部長

米沢印刷紙業株式会社
代表取締役



〔優良従業員表彰〕

渡辺 道子 氏 株式会社弘文堂印刷／十勝支部

『印刷道』実践セミナー」のご案内

～それぞれの企業に則した印刷道の展開を目指して～

全 印工連は、昨年、印刷産業の今後を予測し、ソリューション・プロバイダーとして持続可能な成長を果たして、未来を創る印刷産業へと進化を遂げるための指南書として『印刷道』～ソリューション・プロバイダーへの深化』を発売した。

同書には、印刷業が進化し得る戦略の方向性を示した「ソリューション・プロバイダーの6類型」が収録

されており、各社の強みを活かした戦略を立てることが可能となっている。

そこで、ソリューション・プロバイダーの6類型の理解を深め、自社に適合する戦略を選択し、実践に繋げる計画書を策定する「『印刷道』実践セミナー」を下記により開催する。

記

1. 日 時 平成27年1月31日(土) 13:30～16:30
2. 会 場 ガーデンシティ札幌駅前（札幌市中央区北2条西2丁目 TKP札幌ビル 電話011-252-3165）
3. 内 容 「印刷道」およびソリューション・プロバイダーの意義や目的を理解したうえで、それぞれの企業の実情に則した課題を抽出し、実践に繋げる計画書の策定を行うワークショップを実施する。
4. 講 師 株式会社ビジネスコミュニケーション研究所 代表取締役 田中信一 氏
5. 受 講 料 5,000円/1人
6. 申込期日 平成27年1月15日(木)

平成27年新春経営者研修会のご案内

道 内印刷業界を取り巻く環境は、未だに政府の経済政策の恩恵が実感できなく、人口減少等による社会環境の変化、需要構造の変化によるペーパーメディアの流出、業際化など、これまで経験したことのない大きな変革への対応が迫られている。

このような環境下で、勝ち残っていくためには、経営体質の強化が不可欠である。

企業が強い経営体質にするためには何が必要か？

全道で多数の企業の経営診断を行い、アドバイス・指導を行っている中小企業診断士の千葉俊幸氏を講師に迎え、さまざまな業種を通して、「事例から学ぶ経営強化のポイント」～診断結果から見えた企業の現状～をテーマに、“平成27年新春経営者研修会”を下記により開催する。

記

1. 日 時 平成27年1月9日(金) 午後2時45分～午後4時15分
2. 会 場 札幌グランドホテル（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）
3. テー マ 「事例から学ぶ経営強化のポイント」～診断結果から見えた企業の現状～
4. 講 師 千葉労務経営事務所 中小企業診断士・社会保険労務士 千葉俊幸 氏
5. 受 講 料 無 料
6. 定 員 100人（申込先着順で定員になり次第締め切ります）

平成25年北海道工業統計速報発表される

印刷・同関連業出荷額1,044億51百万円、前年比▲13.1%

平成25年北海道工業統計（4人以上の事業所）の速報値が、このほど、北海道総合政策部統計課から発表になった。

印刷・同関連業の出荷額は、1,044億51百万円で前年比▲13.1%と大きく落ち込んだ。

平成25年北海道工業統計速報値では、北海道の製造業の全産業で、事業所数が5,852事業所で前年に比べ134事業所が減少（▲2.3%）している。従業者数は16万3,722人で前年に比べ2,707人が減少（▲1.6%）している。製造品出荷額は6兆3,344億66百万円で、前年に比べ1,950億41百万円が増加（2.1%）している。

平成25年の北海道の印刷・同関連業は、事業所数は369社で前年に比べ6事業所が減少（▲1.6%）している。従業者数は7,112人で前年に比べ612人が減少（▲7.9%）している。製造品出荷額は1,044億51百万円で前年に比べ157億16百万円が減少（▲13.1%）している。

北海道工業統計（印刷・同関連業）

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	事業所	前年比 (%)	人	前年比 (%)	百万円	前年比 (%)
平成25年	369	98.4	7,112	92.1	104,451	86.9
平成24年	375	88.7	7,724	108.0	120,167	110.4
平成23年	423	103.9	7,154	89.7	108,854	※85.7
平成22年	407	96.6	7,973	97.6	126,776	96.7
平成21年	421	88.8	8,162	88.3	130,986	89.4
平成20年	474	96.1	9,243	94.1	146,374	89.8
平成19年	493	91.8	9,827	98.4	162,878	98.3
平成18年	537	92.9	9,985	95.5	165,645	94.6
平成17年	578	96.6	10,449	97.6	175,062	104.6
平成16年	598	89.5	10,699	96.3	167,323	96.5
平成15年	634	104.4	11,110	97.9	173,286	99.5
平成14年	625		11,347		173,995	

※平成23年は経済センサス調査

2015北海道情報・印刷産業展 開催日のお知らせ

北海道情報・印刷産業展実行委員会は、例年9月初旬に開催している「北海道情報・印刷産業展」を、平成27年は、9月にIGAS2015が行われるため、平成27年（2015年）に限り、開催日を下記に変更して催行する。

〔2015北海道情報・印刷産業展〕

開催日 平成27年6月11日(金)・12日(土)・13日(日)

会場 アクセスサッポロ

「PODメーカー4社見学会&プレゼンテーションバスツアー」開催

北海道印刷工業組合札幌支部

北海道印刷工業組合札幌支部（岸昌洋支部長）主催の「PODメーカー4社見学会&プレゼンテーションバスツアー」が、“最新のプリントオンデマンド技術を利用したビジネスモデル構築”をテーマに、11月11日、32人が参加して開催された。

同ツアーは、札幌市内にあるキヤノンマーケティングジャパン(株)、富士ゼロックス(株)、コニカミノルタビジネスソリューションズ(株)、リコージャパン(株)の4社のショールームを巡回し、最新オンデマンド印刷機の実演見学、サンプル製品の紹介に加え、各社からPODを利用した成功事例に基づくセミナーが行われた。



荻原圭介 氏

最初の見学先のキヤノンマーケティングジャパン(株)は、プロダクションシステム販売課の荻原圭介課長代理から、広告媒体の変化の状況と今後の方向性としてネットとリアルを併用するオムニチャネルの活用

が説明され、東京・日本橋の印刷会社が「販促代理店宣言」をキーワードにPODを導入し、付加価値提案に結び付けている事例が紹介された。

実演では、imagePRESS C800を使用し、各種の用紙対応、表裏見当の精度の高さなどが披露された。



手法などが説明され、京都の印刷会社のフリーペーパーを用いた地域活性モデルが紹介された。

実演では、Versant2100Pressを使用し、生産性・画質・効率性の高さ、市場用途の柔軟な対応性などが披露された。



杉田晴記 氏

2番目の見学先の富士ゼロックス(株)は、プロダクションサービス営業本部マーケティング部の杉田晴記部長から、「コミュニケーション価値生産ファクトリーへ」をテーマに、地域の活性化、ソーシャルメディアと印刷物の

関係、NTTタウンページを利用したマーケティング



小山直仁 氏

3番目の見学先のコニカミノルタ
ビジネスソリューションズ(株)は、PPG
事業推進部の小山直仁部長から、同
社製品の特長、スペックなどが説明さ
れ、東京・文京区の外国人をターゲッ
トにした旅館のマーケティングの事例、

集客・増客に結びつくカレンダーの事例などが紹介
された。

実演では、bizhubPRESS C1070を使用し、高生産
性、画像品質、作業効率の向上などやカラーとモノク
ロ混在の頁物印刷物のコスト低減ソフトなどが披露さ
れた。



大津英明 氏

4番目の見学先のリコージャパン
(株)は、PPS事業本部マーケティング
戦略室の大津英明氏から、「お役立
ちファクトリー」として同社がPOD
導入や導入後のフォローとして発行
しているPODサクセス、PODレシ
ピブックなどが紹介され、「売上拡大を実現するビ

ジネスモデル」としてアパレルショップやホームセン
ターなどへの提案事例が紹介された。また、web to
printと、そこから派生するプリントビジネスの事例も
紹介された。

ジネスモデル」としてアパレルショップやホームセン
ターなどへの提案事例が紹介された。また、web to
printと、そこから派生するプリントビジネスの事例も
紹介された。

実演では、Pro C5100Sを使用し、凹凸紙への対
応、紙厚・紙種に対応した印刷速度、白紙混在検知な
どが披露された。



見学会終了後、会場をサッポロビール園に移し、
PODメーカー4社の方々も参加し、懇親会を開催し、
闊達な情報交換を行い、親睦を深め、印刷業界の未
来を語り合い、将来展望を模索する絶好の機会と
なった。



印刷技能士おめでとうございます

平成26年度オフセット印刷技能検定の合格者が、このほど発表になった。

組合員企業の合格者は次のとおり。

[1級]	津島治樹 (株東和プリント・札幌支部)	木下敦夫 (株東和プリント・札幌支部)
[2級]	佐藤優貴 (株正文舎・札幌支部) 小林正典 (株アイワード・札幌支部)	茂治広樹 (岩橋印刷株・札幌支部) 白戸泰彰 (株東和プリント・札幌支部)

平成27年新年交礼会のご案内

北海道印刷関連業協議会

北海道印刷関連業協議会の平成27年新年交礼会が下記により開催されます。

記

日 時 : 平成27年1月9日(金) 午後5時
会 場 : 札幌グランドホテル (札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311)
会 費 : 8,000円

業 界 の う ご き

▶小樽Qプリントが移転

小樽Qプリント (江尻 眞 代表) が、このたび、移転した。

[新住所] 〒047-0156 小樽市桜1丁目8番16号 電話0134-61-1595/FAX0134-61-1594

▶(株)北海道機関紙印刷所が移転

株式会社北海道機関紙印刷所は、このたび、新社屋が落成し、移転した。

[新住所] 〒006-0832 札幌市手稲区曙2条3丁目2番34号 電話011-686-6141/FAX011-676-6684

▶富士フィルムビジネスサプライ(株)札幌営業所長に山賀義徳氏

富士フィルムビジネスサプライ株式会社札幌営業所 (札幌市中央区大通西6丁目1番地 富士フィルム札幌ビル) は、このたび、小林雅宏所長に代って、新しく所長に山賀義徳氏が就任した。

お悔やみ

吉田昭八 氏 (大明印刷株式会社代表取締役社長・小樽支部) は、10月11日ご逝去されました。74歳。

通夜は、10月14日午後6時から、葬儀は15日午前9時30分から、いずれも小樽市内の小樽典礼斎場でしめやかに執り行われました。

山田紀二 氏 (株式会社山紀取締役会長・旭川支部) は、10月17日ご逝去されました。75歳。

通夜は20日午後6時30分から、葬儀は21日午前9時から、いずれも旭川市内の神居住民センターでしめやかに執り行われました。

2015北海道情報・印刷産業展 開催日のお知らせ

例年9月初旬に開催しています「北海道情報・印刷産業展」は、平成27年は、9月にIGAS2015が行われるため、平成27年（2015年）に限り、開催日を下記に変更して催行します。



〔2015北海道情報・印刷産業展〕

開催日：平成27年 **6月11日** 日**木**・**12日** 日**金**・**13日** 日**土**

会 場：アクセスサッポロ（札幌市白石区流通センター4丁目3番55号）